



会派清新  
水口 典一

### 次期滝川市総合計画について

**【質問】** 現総合計画は令和3年度までだが、未曾有のコロナ禍において、次期総合計画策定の有無と基本構想の柱となる施策として、どのような検討がされているか伺う。

**【答弁】** 市が進むべき方向性を示す市民向けのマニフェストとして、策定は引き続き必要と考えています。現在、次期総合計画策定に向け、現総合計画のフォローアップ作業を進めており、施策の方向性や将来的な課題を整理したうえで、市内に策定本部を設置し、基本構想案を年度内に策定する予定です。

4月以降、市民や議員にも諮りながら基本計画をまとめ、令和4年3月に総合計画を策定するスケジュールとなっています。

### 老朽化した学校施設改築の中長期的展望について

**【質問】** 老朽化が著しい学校施設について、人口動態なども踏まえつ

つ、財政的視点から年次の見通しを立て改築を計画することが重要と考えるが、見解を伺う。

**【答弁】** 令和2年度から第2期財政健全化計画を推進中ですが、新型コロナウイルス感染症拡大により、市はもとより市立病院の経営も大きな影響を受けている状況です。公共施設をはじめ学校施設の老朽化問題は顕著になってきており、財政状況から実施が可能と判断できる時期には集約化・複合化などの視点も取り入れ、検討を続けていきます。

**【質問】** 建築後60年を超える学校施設もあり、他の公共施設と比較しても希少な建築物となっている。将来を担う子どもたちに夢と希望を与えるためにも、適正配置計画と一体となった改築の取り組みが必要と考えるが、見解を伺う。

**【答弁】** コロナ禍において、来年度の予算設計も見えない中で、新たな財源をどのように確保するかは大きな課題であります。市単独での学校改築は難しいので、施設の老朽化に対する助成など、国・北海道にお願いをしながら、最大限の努力をしていきます。



公明党  
三上 裕久

### コロナ対策として設置された発熱外来の運用状況について

**【質問】** 新型コロナウイルス感染症による発熱者とかぜ症状の発熱者を見分けるため、市立病院に設置された発熱外来の運用状況について伺う。

**【答弁】** 従来対応してきた救急外来診察室に加え、プレハブの簡易診察室を整備して対応に当たっていますが、発熱患者数は11月に入り増加傾向にあり、発熱者などを空間分離して対応している患者数は、多い日で20人程度となっています。今以上に発熱患者数が増えると、通常の外来診療を減らすなどの対応をしなければならぬため、発熱やかぜ症状のある方は電話相談のうえ、予約をしてから来院されますようお願いいたします。

### インフルエンザ予防ワクチンの確保状況について

**【質問】** 滝川市全体として、インフ

### コロナ禍における障がい者雇用の現状について

**【質問】** コロナ感染の拡大で、市内雇用の状況が心配される。障がい者の雇用状況の実態について伺う。

**【答弁】** 本市においては、現時点では、コロナ禍を原因として障がい者の方が休職や解雇などによりお困りになったとの相談や具体的な影響は聞いておりません。しかし、今後、予断を許さない状況にあることと認識しています。お困りになった際には、障がい年金の活用や就労継続支援といった福祉サービスの利用など個別具体的にその方に寄り添った必要な相談・支援を行ってまいります。